
大学教育学会ニュースレター

No.77 2008.2.1

大学教育学会 (*Liberal and General Education Society of Japan*)

事務局:北海道医療大学内 〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757

TEL0133-23-1487(直通)/FAX:0133-23-1487

郵便振替口座:00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: ungakkai@hoku-iryo-u.ac.jp

URL: <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

大学教育学会 第30回(2008年)大会

総合テーマ

大学の「教育力」

大学教育学会 第30回大会
企画委員会委員長 奈良雅之

(趣旨)

今日、小学校・中学校・高等学校における教科の見直しなどの教育改革が進行する中で、大学も教育機関としての機能を充実させる必要性が指摘されております。1991年の大学設置基準改正から17年、大学進学者が四割を超える現状の中で、各大学が様々な教育改革に取り組んでいる様子は、多くの研究・研修の場で伺い知ることができます。

例えば、シラバスの公開や学生による授業評価の導入、GPA制度の活用、登録単位数の制限、授業内容や授業方法の改善など、様々な取り組みが導入され、点検・評価のプロセスを通して見直され、改善されて行く様子、FD活動を通してその教育改革の取り組みが浸透していく様子を各大学における教育改革の取り組みの中に垣間見ることができます。

さて、その取り組みの多くは、当面の問題を解決するための具体的な対応策という点では、一定の効果を発揮していると評価することができます。その一方で、当面の問題の解決に追われることにより、その取り組みの背景にある、大学という高等教育機関が果たすべき役割は何かという本質的な問題に対する意識が希薄化していくならば、その改革の方向を見失うことにもなりかねないと懸念いたします。私たち大学人は、このような時期であるからこそ、初等中等教育の改革論議にとらわれることなく、しっかりと時間をかけて、大学という高等教育機関が果たすべき役割は何かという本質的な問題を論議する必要があるのではないか、また、そのことは日々の教育改革に前向きに取り組むためにも重要なことではないかと考えます。

このような現状認識に立った上で、大学教育の果たすべき機能を、ここでは、大学の「教育力」と呼び、大衆化し、かつてのような知的エリートや研究者の育成だけが期待されるのではない、今日の大学の教育機能について議論を深めたいという意図から、「大学の「教育力」」という総合テーマの下に本質的論議を行うシンポジウムⅠを企画しました。また、学生を育て社会に送り出すためには、授業をとおした教育・研究という側面からだけでなく、学生の学園生活全般についての様々な関わりが不可欠です。その意味から、大学職員の関わりも、大学における「教育力」について検討する上で、大変重要な要素となってきていると考え、職員の関わりも含んだ教育改革の具体的な取り組みの事例から「大学の「教育力」」について考えるシンポジウムⅡを企画しました。活発な論議を期待しております。

大学教育学会 第 30 回(2008 年)大会
総合テーマ
大学の「教育力」
開催要領(概要)

1. 開催日時及び会場

期日 2008 年 6 月 7 日 (土) ～ 8 日 (日)
 会場 目白大学新宿キャンパス 10 号館・佐藤重遠記念館 (東京都新宿区)
 (西武新宿線・大江戸線中井駅下車：徒歩 7 分)

2. 大会日程

第 1 日：6 月 7 日 (土)

9:00	9:30	12:00	13:00	14:00	14:20	15:30	18:00	20:00
受付	ラウンドテーブル	昼食	総会	学長挨拶	記念講演	シンポジウム I	懇親会	

第 2 日：6 月 8 日 (日)

8:30	9:00	12:00	13:00	16:00	16:30
受付	自由研究発表	昼食	シンポジウムⅡ	閉会	

第 1 日 6 月 7 日 (土)

- 9:00～ 受付
- 9:30～12:00 ラウンドテーブル (150 分)
- 12:00～12:50 昼食 (シンポジウム I 打ち合わせ)
- 13:00～13:50 総会
- 14:00～14:20 学長挨拶 佐藤弘毅
- 14:20～15:20 記念講演 佐藤弘毅 (60 分)
- 15:30～18:00 シンポジウム I 「大学の「教育力」とは何か」 (150 分)
- 18:10～20:00 懇親会 (1 号館地下食堂)

第 2 日 6 月 8 日 (日)

- 8:30～ 受付
- 9:00～12:00 自由研究発表 (180 分)
- 12:00～12:50 昼食 (シンポジウムⅡ打ち合わせ)
- 13:00～16:00 シンポジウムⅡ「大学における「教育力」を考える—教員と職員のコー
ボレーションの視点から—」 (180 分)
- 16:00～16:30 会長閉会挨拶・次期会場校挨拶

▲関連行事

6 月 6 日 (金) 16:30～18:00 理事会

3. ラウンドテーブル

ラウンドテーブルは、6年前の第24回大会から研究交流部会に代わって、会員のイニシアティブにより広くテーマを募る目的で実施されています。ここで取り上げられた研究テーマは学会として価値が認められると、本学会の課題研究のテーマとして採用されることも期待されています。この趣旨に沿って、今大会でもラウンドテーブルのための時間帯を設けました。積極的な応募を期待します。詳細は、本ニュースレター掲載の「自由研究」発表、「ラウンドテーブル」企画・申込要領をご参照下さい。

なお、ラウンドテーブルを企画される際には、企画者及び発表者が複数の教育研究機関にわたるようにご配慮下さい。また、ラウンドテーブルの様子は大学教育学会誌第30巻第2号にご報告いただきます。ラウンドテーブル全体の企画の取り纏めと調整は、大会企画委員会が行います。

4. 総会

議長 寺崎昌男(会長)

5. 基調講演

演題：「学士課程教育の在り方の審議経過にみられる大学の「教育力」（仮題）」

講師：佐藤弘毅（目白大学学長）

6. シンポジウム I：「大学の「教育力」とは何か」

趣旨：2007年度の文部科学省のデータによれば、大学・短期大学への進学率は54%となっている。このような高等教育のユニバーサル化の流れの中で、多様な学生に対応するために大学の個性化・特色化が進行してきている。また、一方では我が国の大学が、世界の大学と伍していくためには、大学での学びの内容を保障し、学位の国際的な通用性を確保する必要性も指摘されている。

このように多様な課題を抱える大学であるが、目先の問題に流されることなく、「大学とは何か」、「大学の社会的使命は・・・」、「どのような教育(教育力)が必要なのか」といった問題意識を忘れてはならないであろう。2007年9月に「中央教育審議会大学分科会学士課程教育の在り方に関する小委員会」から公表された「学士課程教育の再構築に向けて（審議経過報告）」では、大学は「何を教えるか」ではなく「何が理解できるようになるか」という「学びの成果」を明確に具体化する必要があることが強調されている。

このような流れを受け、今回のシンポジウムでは大学の「教育力」の内容をどのように考えるかを確認し、その教育力が具体的にどのような形で展開され、どのような「学びの成果」に結びついているかを検討する。「学びの成果」については、各学問領域で様々な目標が立てられると思うが、専門課程の教育ではなく、教養教育という観点から学生の学びの充実に取り組まれている事例を中心に考えてゆきたい。

シンポジスト：金子元久氏（東京大学大学院） 新村洋史氏（中京女子大学）
徳永哲也氏（長野大学）

司 会：松岡信之（国際基督教大学・本大会企画委員）

7. 自由研究

会員の研究発表とそれに基づく討論は、学会活動の基本です。会員各位の積極的な参加を期待します。「自由研究」の発表要領は以下の通りです。

- (1)各発表とも発表 15 分+質疑応答 5 分、計 20 分です。
- (2)「発表テーマ」「発表内容要旨」を参考にして、いくつかの会場に分かれて行います。会場分けは、大会実行委員会にご一任願います。
- (3)会場ごとに、発表終了後、総合討論の時間を設けます。発表者は必ず総合討論にご参加下さい。
- (4)共同研究の成果を発表される場合は、会場での発表者は本学会員とします。但し「発表要旨集」には、共同研究者として非会員の氏名も記載することができます。

8. シンポジウムⅡ：「大学における「教育力」を考える—教員と職員のコラボレーションの視点から—」

趣旨：進学率の向上と学生たちの変化を受けて、大学における教育の形態や内容は多様性を増している。さらに、大学に対する社会からの期待や要請も多様化し、また、その変化の速度も増している。そして、大学はそれらに対する機敏な対応も求められている。このような状況において、大学教育をその本来の目的を達成するためにより効果的に推進するに当たり、研究者としての大学教員にとってその見識だけでは十分に対処しにくい状況が生まれている。そこで、新しい授業形態の構想・企画、その実現のための学外機関との交渉、学生生活への支援、履修指導などの面では、職員が深く関わり、教員とは異なった側面からの様々なアプローチがなされるようになっていく。このように職員が教員と協働して現代の学生たちを対象にした大学における「教育力」を涵養することは、これからの日本の大学にとって必然的であるように思われる。

今回のシンポジウムでは、職員の立場で既にこのような協働的営為を実践している私立大学関係者から、その経験に基づき、それぞれの大学での「教育力」の受け止められ方や、教員たちとの協働形態の実際、さらには、協働遂行に際して克服すべき課題などの点について率直な報告をいただき、教員と職員のコラボレーションという視点から大学における「教育力」を改めて問い直し、その具体的な育成法などについて議論を深めたい。

シンポジスト：浅田昭人氏(立命館大学)、今田晶子氏(立教大学)、長野佳恵氏(目白大学)、本郷優紀子氏(桜美林大学・本大会企画委員)

司 会：佐々木一也(立教大学・本大会企画委員)

第 30 回大会に関するお問い合わせは、下記にお願いします
〒161-8539 新宿区中落合 4-31-1 目白大学 スポーツ科学研究室
大学教育学会第 30 回大会事務局
奈良 雅之
TEL/FAX: 03(5996)3126
E-mail: 30kaitaikai@mejiro.ac.jp

「自由研究」発表・「ラウンドテーブル」企画・申込要領

※「自由研究」と「ラウンドテーブル」の申込の締め切りは、2008 年 3 月 1 日 (土) 必着です。

1. 「自由研究」の発表を希望される会員・「ラウンドテーブル」の企画（及び発表）を希望される会員は、大会実行委員会宛に以下の内容を明記して申し込みを行って下さい。
 - (1) 「自由研究」発表テーマ・「ラウンドテーブル」企画テーマ
 - (2) 発表者・企画者氏名（共同研究の場合は前述の「発表要領」参照）、所属機関・部局
 - (3) 発表・企画内容概要（日本語 300 字程度、または英語 150 語程度）
 - (4) キーワード（5 個以内）
 - (5) PC 用プロジェクト使用希望の有無
（PC はご持参ください。プロジェクトは windows XP 対応です。その他の機器を希望する場合は、別途、お問い合わせ下さい）
 - (6) 連絡先（氏名／郵送先住所／電話／FAX／e-mail）

2. 申し込みは、「自由研究」発表・「ラウンドテーブル」企画ともに、以下のいずれかの方法で行って下さい。
 - (1) E-mail: 30kaitaikai@mejiro.ac.jp
 - (2) 郵送／FAX：別紙申込書に記入してお送り下さい。
〒161-8539 新宿区中落合 4-31-1 目白大学 スポーツ科学研究室
大学教育学会第 30 回大会事務局
奈良 雅之
FAX: 03(5996)3126

3. 「自由研究」発表の申し込みが受理されますと、大会実行委員会より「発表要旨」原稿の作成を依頼します。「発表要旨原稿作成要領」に従って4 月 21 日 (月) 必着で原稿を大会実行委員会宛にご提出下さい。「ラウンドテーブル」の場合もこれに準じますが、詳細は企画者に個別にご連絡いたします。

＝事務局から＝

● 会費納入のお願い

今年度(2007年度)の会費が未納の方および過年度の会費・会誌代が未納の方々は、**2月29日(金)**までにご入金ください。(領収証につきましては、郵便払込票の受領証をもって替えさせていただきます。)

なお、入金状況について不明な方は、メールもしくはFAXにて4桁の会員番号を明記の上、お問い合わせください。追って、返答させていただきます。

年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」

ご入金はなるべく**郵便払込取扱票**をご利用ください。やむを得ず、**銀行からご入金を希望される場合は、お手数でもご入金前に必ず事務局までその旨ご連絡ください。**

● 大学教育学会第30回(2008年度)大会参加のためのご案内について

大会への参加申込みのご案内および参加申込み用紙の送付につきましては、次号(4月発行予定)とさせていただきますので、ご承知おきください。

● 2008年度課題研究集会について

2008年度課題研究集会は、12月6日(土)～7日(日) 岡山大学創立50周年記念館(所在地:岡山県岡山市津島中2丁目1-1)にて開催予定です。

● 販売内容のご案内

▼ご購入希望がある場合は、その旨、事務局までお申し出ください。

No.	販売内容	価格(税込)	送料
1	学会誌バックナンバー	各3,500円	別途(実費)
2	学会誌バックナンバーCD-ROM ① 創刊号～第22巻第2号まで収録 ② 第23巻第1号～第28巻第2号まで収録	各5,000円	300円

＝会員名簿掲載内容の誤りについて(お詫び)＝

2007年11月発行の会員名簿に次のような誤りがありました。訂正しお詫び申し上げます。

掲載ページ	会員番号	氏名	正	誤
41	531	香西 敏器	こうざい としき	かさい としき
47	2000	馬場 忠雄	理事・副学長	理事・復学長
51	2091	浅田 晋太郎	大阪女学院大学・ 大阪女学院短期大学	大阪大学院大学・ 大阪女学院短期大学

＝お願い＝定期刊行物は、おもにヤマトメール便を利用しているため、転居にともなう転送はされず、数週間後、事務局へ返送されてまいります。事情をご考慮いただき、ご登録内容に変更が生じた場合は、速やかに事務局までご連絡くださいますようお願いいたします。



事務局 ● 北海道医療大学内

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢1757

TEL 0133-23-1487 FAX 0133-23-1487

E-mail ungakkai@hoku-iryu-u.ac.jp

URL <http://www.daigakukyoyoiku-gakkai.org/>

大学教育学会第 30 回大会(目白大学)

「自由研究」発表・「ラウンドテーブル」企画申込書

*同一会員が両方に申し込むことも可能です。

*e-mail で申し込みもできます。

*3月1日(土)必着です。

申込者氏名 _____

1. 「自由研究」発表

「ラウンドテーブル」企画

(いずれかにチェックをして下さい。両方の場合は、申し込みを2枚にして下さい)

テーマ

2. 発表・企画者名(共同研究の場合は「要領」参照)、所属機関・部局

3. 発表・企画内容概要(日本語 300 字程度、または英語 150 語程度)

4. キーワード(5個以内)

5. PC用プロジェクタ利用

有 ・ 無

(その他の機器)

6. 連絡先

・氏 名 :

・郵送先住所

(〒 _____)

・TEL : (_____) _____ / FAX : (_____) _____

・e-mail :

(切り取ってご使用ください)



【大会事務局】

〒161-8539 新宿区中落合 4-31-1
目白大学 スポーツ科学研究室
大学教育学会第 30 回大会事務局
TEL/FAX: 03-5996-3126(奈良)
E-mail: 30kaitaikai@mejiro.ac.jp

【学会事務局】

〒061-0293 北海道石狩郡当別町金沢 1757
北海道医療大学内
TEL/FAX 0133-23-1487
E-mail ungakkai@hoku-iryu-u.ac.jp
URL <http://www.daigakukyoiiku-gakkai.org/>